

お知らせ：

SOFIX(土壌肥沃度指標)分析のパターン判定および化学分析の一部変更について

一般社団法人 SOFIX 農業推進機構

SOFIX 農業推進機構では、SOFIX(土壌肥沃度指標)分析の「パターン判定・評価」および「土壌の化学性」に関する分析指標の一部を次のように変更します。

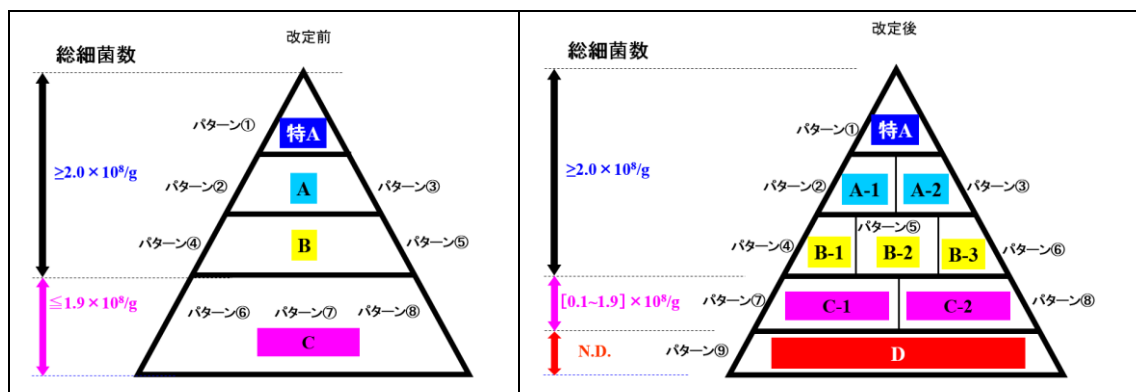
1. パターン判定および評価の変更

①変更内容

SOFIX 分析では、これまでの蓄積された土壌の分析データを解析し、畑の場合は8つのパターン、水田や樹園地は7つのパターンに分類し、その特徴に基づいて、特A、A、B、およびCの評価付けを行ってきました。

今回、より詳細な土壌評価を行うため、次のように変更します。

- 1) 総細菌数が n.d.=検出限界以下の土壌については、畑の場合は「パターン9」、水田および樹園地場合は「パターン8」を追加し、「D 評価」を新たに設けます。
- 2) それぞれのパターンに関して、それぞれの評価を与えます。具体的には、下記の図のように各パターンとそれに対応する新たな評価を設けます (A-1、A-2、B-1、B-2、B-3、C-1、およびC-2)。



②変更の理由

土壌中の総細菌数が検出限界以下 (n.d.) となっている場合、通常の処方では総細菌数の回復が困難であるケースが見られます。これらの土壌を回復させるためには、精密な診断を

行なって処方を検討していく必要があります。精密診断が必要な土壌評価基準を「D 評価」として、より分かりやすい評価基準としました。

また、従来パターン②とパターン③は「A 評価」でしたが、より詳細な基準を設定するため、「A-1」と「A-2」新たな評価を設けました。同様に「B 評価」と「C 評価」も新たな評価基準を設定しました。

2. 化学分析の項目の一部変更

①変更内容

SOFIX 分析では、土壌の化学性に関して、土壌中のリン酸やカリウムの量を示す指標として、微生物利用の観点から「水溶性リン酸」、「水溶性カリウム」を用いてきました。

今回の改定では、これらの指標を「可給態リン酸」「交換性カリウム」に変更しました。

改定前	改定後
水溶性リン酸 P ₂ O ₅ 換算 P	可給態リン酸 P ₂ O ₅ 換算(乾燥換算) P ₂ O ₅ 換算(現状で水分を含む) P(現状で水分を含む)
水溶性カリウム K ₂ O換算 K	交換性カリウム K ₂ O換算(乾燥換算) K ₂ O換算(現状で水分を含む) K(現状で水分を含む)

②変更の理由

JA をはじめとする一般的な土壌の化学分析では、「可給態リン酸」、「交換性カリウム」の指標が用いられています。これらとの整合性を図るようにしてほしい、という要望があり変更することになりました。

3. 実施時期

2018年12月6日受付分より、新パターン判定・評価、新分析指標を実施します。

以上

問合せ先

一般社団法人 SOFIX 農業推進機構

〒525-8577 滋賀県草津市野路東 1-1-1

立命館大学テクノコンプレクス内

TEL : 077-599-4310 FAX : 077-599-4306

E-mail : info@sofixagri.com